

令和3年度

事務事業評価表 ( 令和2年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 3 年 4 月 1 日

事務事業名		地域商社支援事業				事業区分		担当	
						新規/継続	新規	事務事業No.	040201001036
						単独/補助	補助		025101
政策体系		政策体系上の位置付け						所属課	ヤマザクラ課
総合計画の施策名		0402 商工業の振興						課長名	
政策名		04 活力ある産業のまちづくり						グループ	ヤマザクラグループ
施策名		02 商工業の振興						担当者名	
手段名		01 ①商工業の振興							
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	02	01	18	01	00	ヤマザクラの里づくり事業		
						単年度繰返し ( 令和2年度～)			
						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			
法令根拠		桜川市地域商社設立準備補助金交付要項(令和2年9月24日～令和3年3月31日) 桜川市地域商社運営補助金交付要項(令和3年4月1日～)							

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像) 地域経済の活性化を図るため、地元で生産されている農産物・加工品等について、地域でのマーケティングや販路開拓を行う地域商社の設立を目指す。 令和3年度からは設立した地域商社の支援事業として、事業実施していく。 令和2年度の予算科目は当初はヤマザクラの里づくり事業(地方創生推進交付金)、補正は地域商社設立事業(地方創生臨時交付金)の2本立、令和3年度は地域商社支援事業となる。	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 地域商社設立準備事業にかかる ・事業構想、計画立案、市場調査 ・設立協議会の運営 ・事業性検討調査 ・地域産品の開発支援 ・観光プロモーション ・店舗整備 地域商社運営にかかわる補助事業(令和3年から) ・商社と連携した事業実施、ふるさと納税にかかわる連携協議 ・補助金交付、必要な費用の支払い

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
地域商社設立 ・事業構想、計画立案、市場調査・設立協議会の運営 ・事業性検討調査・地域産品の開発支援 ・観光プロモーション・店舗整備 地域商社支援 ・商社との連携・迅速な補助金等の支払い	桜川市地域商社設立準備委員会の開催回数	回	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
	地域商社との打合せ回数	回	0.00	0.00	6.00	6.00	6.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
地域商社設立 市民 地域商社支援 加波山市場	桜川市の人口	人	0.00	38,905.00	38,118.00	37,331.00	36,544.00
	加波山市場出品者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
地域商社設立 地域産品等の消費拡大と稼ぐ力の創出 地域商社支援 地域商社の安定した経営のうえ、将来的にふるさと応援寄附事業の充実につなげる	加波山市場生産者協議会の入会者数	人	0.00	100.00	120.00	150.00	160.00
	加波山市場来店者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移		01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	期間限定総投入量		
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円	0	52,207	7,500	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	0	14,759	10,630	0
		事業費計(A)	千円	0	66,966	18,130	0
	正規職員従事人数	人	0.00人	3.00人	4.00人		

02年度事業費実績(千円)				03年度事業費予算(千円)			
01 報酬	842	23 投資及び出資金	10,000	08 旅費	40		
03 職員手当等	91			10 需用費	88		
07 報償費	55			11 役務費	32		
08 旅費	38			12 委託料	570		
10 需用費	246			13 使用料及び賃借料	2,400		
11 役務費	252			18 負担金補助及び交付金	15,000		
12 委託料	4,091						
13 使用料及び賃借料	1,200						
14 工事請負費	55						
18 負担金補助及び交付金	50,096	合計	66,966			合計	18,130

事務事業名	地域商社支援事業	事務事業No.	40201001036	所属課	ヤマザクラ課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 令和2年度から事務事業に位置付け、「地域商社設立準備事業」として、地域商社の設立を目指す。 令和3年度からは設立した地域商社の支援事業として事業実施する。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 第2期総合戦略の基本目標①「稼ぐ地域をつくり、しごとをつくる」に位置付け事業推進を図っていくため結びついている。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 地域経済の活性化を図るため、妥当である。
	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 地域商社設立に向けて計画立案、実施、事業進捗を円滑に行っていく必要がある。 設立された地域商社の安定経営と、連携した商品開発等を進めていく必要がある。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 事業推進が図れないため、影響がある。
有効性	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はない。
	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 最小限の事業費、人件費で事業を実施しており削減の余地はない。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 地方創生推進交付金対象事業として推進する。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	令和2年度から新規事務事業「地域商社設立準備事業」を進めた。また、桜川市地域商社が運営する加波山市場は、市が新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、実証店舗を整備し桜川市地域商社へ業務委託する予定(R3.4/1~)で事業を進めることができた。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 今後、マーケティング、プロモーション活動を通じて市内で生産される農産物・加工品等の販路を開拓し、地域経済の活性化を担う桜川市地域商社の活動を支援すると共に、早期に自走・自立できるよう働きかける。 将来ふるさと応援寄附金事業を充実させるためにも、加波山市場の安定経営は必須である。		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○				X	X	X
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○																		
		X	X	X																	
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 ①																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>